

答申のイメージ（頭紙）

令和8年（2026年） 月 日

越谷市長 福田 晃 様

越谷サンシティのあり方に関する審議会
会 長 松 岡 拓公雄

今後の越谷サンシティのあり方に関する方針の策定について（答申）

令和7年（2025年）3月28日付け、越南推第81号をもって諮問のありました今後の越谷サンシティのあり方に関する方針の策定について、別紙のとおり答申します。

答 申

本審議会において、今後の越谷サンシティのあり方に関する方針（以下、「方針」。）の策定について、慎重に審議した結果、別添のとおり方針（素案）をとりまとめましたので、答申いたします。

なお、本審議会が出された各委員の意見につきまして、今後、方針の策定を進めるにあたり、十分参考とされるよう望み、下記を付帯意見として添えます。

また、本審議会で実施しました意見公募の結果につきまして、参考資料として別に添えます。

記

付帯意見

以上

今後の越谷サンシティのあり方に関する方針（素案）

今後の越谷サンシティの整備にあたっては、以下に示す方針に沿って進めるものとする。なお、項目名のみで本文の記載のない事項は、令和3年4月に策定された越谷サンシティ整備基本計画（以下、「計画」。）において該当する事項を参照すること。

以下、方針（素案）の構成は第2回会議で決定したもの
網掛けの箇所は調査審議の結果を反映する（現時点は計画の内容を掲載）

1 新たな越谷サンシティの整備に向けたコンセプト

- ① シビックプライド（郷土愛）を醸成するシンボリックな空間の形成
- ② 人を育て、人から愛される施設
- ③ 広い視野を持った『にぎわい』づくりと経済効果の実現
- ④ 最新テクノロジーの導入、活用

2 施設整備・機能

施設規模の詳細、施設配置等は、今後、「実施方針」や「要求水準書」にて定める

① 施設整備の考え方

- (1) 公共施設（機能）部分＝大規模改修
民間施設部分＝建て替え
- (2) 民間活力の活用
- (3) 防災拠点、気候変動への対応

② 公共施設（機能）と民間施設の考え方

(1) 公共施設（機能）の方向性

イベントホール1	現状の大ホール（1,675席）と同程度以上
イベントホール2	現状の小ホール（490席）と同程度以上
イベントホール3	現状の展示ホール（394.8㎡）と同程度以上
図書室	現図書室と同機能
出張所	現出張所と同機能
広場	市民の憩い／イベントの開催

(2) 民間施設の方向性

民間事業者の提案により決定する

※公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能を検討

アリーナ、サテライトオフィス、MICE、ホテル、商業施設、
産業振興や文化創造に寄与する施設、職業体験施設、子育て関連施設
など

→民間施設の一部に公共機能を取り込む可能性についても検討

3 事業手法

公共施設および民間施設一体での整備・運営を基軸として

- 公共と民間の公平かつ持続可能なりリスク分担の在り方を模索し、
- 民間事業者の創意工夫を最大限取り入れられるような事業手法を検討する